

2014年10月9日御嶽山火山ガス組成ヘリ観測結果

2014年10月10日

10月9日陸上自衛隊・気象庁の協力により火山ガス組成観測を実施した。山頂直上に雲海が広がり、噴煙が雲の中に留まっていたため、雲海との境界で観測を実施した。

結果：最大SO₂濃度=0.1ppm、SO₂/H₂S モル比=0.3（11:27のピーク）

噴煙濃度が低かったため、他の成分との相関を得る事は出来なかった。

SO₂/H₂S モル比=0.3は高温のマグマ性ガスとは考えにくい低い値であり、熱水系に起因する噴気ガスの特徴に一致する。ただし、今回測定された噴煙濃度は極低濃度であるため、今後の検証が必要。

